



## 年頭挨拶

町立病院長 水野正巳



新年あけましておめでとございます。

令和5年の新春を健やかに迎えのことと心

からお喜び申し上げます。

中富良野町立病院ではコロナワクチン、インフルエンザワクチン、小児の定期ワクチンと週4回ワクチンをしています。

そこであまり知られていないのでは、と気になることがあったので、書いてみたいと思います。

それは、ウイルス感染後のワクチンの間隔についてです。

ウイルス感染では、白血球が減少し免疫機能が低下します。細菌感染とは逆です。免疫が低下した状態で生ワクチン（弱毒生麻疹、風疹、水疱瘡、おたふくワクチンなど）を接種すれば最悪の場合感染も心配です。不活化ワクチン（インフルエンザ、日本脳炎、肺炎球菌ワクチンな

ど）も免疫が低下していれば効果は低いと考えられます。

ガイドラインでは、ウイルス感染治癒後免疫が回復するまで間隔をあげるように勧められています。麻疹は4週間、風疹、水疱瘡、おたふくは2〜4週間、突発性発疹、手足口病、伝染性紅斑は1〜2週間です。

問題は新型コロナウイルス感染治癒後ですが、はつきりした情報はありません。小児科では2〜4週間としている所が多いようです。

感染では免疫が低下しワクチンの効果が落ちることがあると理解していただければと思います。

以上をもちまして、町民皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年にあたっての挨拶とさせていただきます。

## 元町議会議員 安井士八さん

### 旭日双光章を受章

元中富良野町議会議員の安井士八さんが永年にわたり地方自治の育成発展に貢献された功績が認められ、旭日双光章を受章されました。

安井さんは、平成11年に初当選し、6期21年8ヶ月に渡って町議会議員を務められ、その間議長、副議長、産業建設文教常任委員長等の要職を歴任し、常に卓越した識見をもって議会活動に臨み、行財政の推進確立、公共事業の促進、教育及び社会福祉の充実、産業の振興発展等、町政各般にわたり尽力されました。

